

【施設状況】

グループ名称	戸隠体験市民農園										
指定管理者名	とんくるりんファームとがくし							法人番号			
所管課	主	160500	農業政策課		副						
構成施設	1908	戸隠体験市民農園									
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	戸隠体験市民農園 106区画 総面積15,235㎡ 管理棟										
施設設置目的	市民が野菜作りを楽しむ憩いの場や余暇利用の場を提供し、野菜栽培等を通じて食への関心を高めるとともに、土に親しみながら農業への理解を深めてもらう。										
基本方針等	都市との交流の機会をつくり、市民の農業に対する理解を深める。										
主な実施事業	農園を利用した野菜づくり										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	とんくるりんファームとがくし					当該指定管理者の 指定回数	1 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 63

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	利用区画数	区画	62	56	53	41	77%	
(特記事項) 利用率41区画/106区画(39%)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・農園の利用の承諾に関する業務 ・農園の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・農園の施設・付属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・農園の利用を増加させる業務						
	自主事業	・農作業代行事業(起耕、除草等) ・そば栽培体験用に2区画利用し、収穫やそば打ち体験イベントを開催			天候不良により、そばの収穫ができなかったため、体験イベントを実施できなかった。			
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・農業初心者に向けた栽培指導及び耕耘等の作業支援 ・SNSでの利用案内等の情報発信						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		4
	(2) 調査、会議等の内容 ・使用料受領時等に聞き取りで要望等把握 ・相談窓口で聞き取り			
	(3) 調査、会議等の結果 ・要望を受けた際は、随時、現地確認や、追加の聞き取りを行い、状況を把握			
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・気候、土壌が野菜栽培に適していると好評を得ている。 ・農園管理についても概ね良い評価をいただいている。(空き区画などの管理、草刈り等を実施、水道開栓等の施設の維持管理、管理棟清掃、周辺の草刈等)			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・灌用水貯水槽の枯渇及び給水ポンプの不具合による水不足への苦情が多く寄せられた。			
	《対応措置》 ・漏水時や給水ポンプの故障により区画の水道や管理棟のトイレが使用できなくなったため、貯水槽への補水や代替措置として水入りポリタンクを随時設置し、利用者の不便解消に努めた。 ・相談窓口をそば博物館とんくるりに設け、迅速な対応を行った。			

4 事業収支

No. 63

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	280,000	利用料金	219,960	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料		使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	
指定管理料		245,000	指定管理料	245,000	貸付料			貸付料		
委託料		0	委託料	0	その他			その他		
販売収入等		0	販売収入等	0						
その他収入		0	その他収入	206						
計		525,000	計	465,166	計		0	計	0	
支出	人件費	277,000	人件費	266,301	歳出	指定管理料	245,000	指定管理料	245,000	
	設備管理費	5,000	設備管理費	17,944		委託料		委託料		
	備品購入費	10,000	備品購入費	0		需用費		需用費		
	修繕費	100,000	修繕費	18,540		役務費		役務費		
	光熱水費	60,000	光熱水費	56,576		使用料・賃借料	263,525	使用料・賃借料	263,525	
	事業費	50,000	事業費	0		修繕費		修繕費		
	事務経費	100,000	事務経費	106,380		工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費		
	その他		その他			その他		その他		
	計	602,000	計	465,741		計	508,525	計	508,525	
自主事業	収入	118,640	収入	2,500						
	支出	90,000	支出	2,000						
	自主事業損益	28,640	自主事業損益	500						
損益	-48,360		-75		差引	-508,525		-508,525		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									57.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分				確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか			☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	業務責任者1名(正規)、非正規職員4名 計5名			
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか				
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか				
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか				
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか				
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか				
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			☒	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか						
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか					

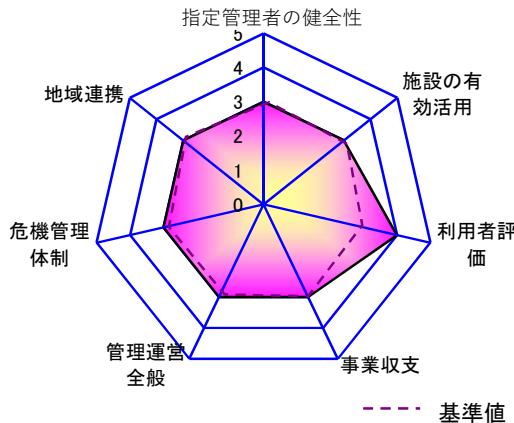
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	3
	・管理業務従事者はすべて地元雇用 ・修繕工事等は地元事業者活用		

【総合評価】

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	4	8	62	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	12		
	地域連携	3	6		
	評価理由	・快適な農園利用に向け、通路等の除草、管理棟や灌用水設備等の維持管理業務及び不具合時の対応を適正に実施しており、利用者の評価を得て、継続利用につなげているため利用者評価を「4」とした。			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)		
	・施設利用率の向上	ホームページ等による利用者募集情報の発信。	・SNSにて利用案内等の情報発信 ・地元施設や農業研修センターに加え、その他関係施設等、広範囲にてチラシ配布を実施		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・引き続き、広報、ホームページ及びチラシのほか、積極的にSNSを活用し、利用者募集情報の周知を図り、利用率の向上に努める。 ・地元施設等と連携した活用について、指定管理者とともに関係機関と協議を進める。				

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・空き区画などの管理、草刈り等を実施
- ・水道開栓等の施設の維持管理
- ・管理棟清掃・設備修繕、周辺の除草
- ・利用者との連絡相談業務
- ・作物残渣や雑草の集積場所を設置。また、集積した残渣等は堆肥として有効活用した。
- ・灌用水貯水槽の枯渇及び給水ポンプの不具合により、区画へ配水できない状態となったため、下記内容を実施し、利用者の不便解消に努めた。
 - ⇒週1回、灌水設備の動作確認・点検を実施
 - ⇒貯水槽への補水、灌水設備を使用できない場合は、20ℓタンク×4個×5箇所に水を設置
 - ⇒灌水設備の不具合について、業者に点検依頼実施(2回)
 - ⇒水が使用できない旨を利用者へ告知(管理棟への掲示)
 - ⇒水が使用できない件へのクレーム対応

② 業務の効率化に対する取組み

- ・農園休憩施設に、緊急時等連絡先を表示し、連絡を受けた際はできるだけ早期に対応した。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・利用率の向上(長年にわたり利用いただいている方が多く、高齢化の進行から耕作区画が減少傾向にある。)
- ・運営人員の確保

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・利用区画数は前年を下回ったが、利用者が快適に農園を利用できるよう適正な維持管理に努めた。

② 次年度以降の取組み

- ・そば栽培・収穫体験イベントの企画・実施
- ・新規利用者の増加に向けたPRの充実(地区内施設へのチラシ配架等)